

## コラム:存在感を示すスウェーデンの社会科学的研究

科学技術指標では、これまで自然科学を対象に論文分析の結果を紹介してきた。科学技術指標 2018 では初めて社会科学の論文分析の結果をコラムで示した。本コラムでは社会科学の最新(2015~2017年)の動向を示すと共に、主要国以外で、人口が小さいながら存在感を示すスウェーデンに注目する。

### (1)社会科学論文におけるスウェーデンの存在感

図表 4-1-11には、「社会科学全体」、「経済学・

経営学」及び「社会科学・一般」について、整数カウント法による 2015~2017 年の論文数(平均値)をもとに、上位 13 か国とスウェーデン、日本の論文数、順位、シェアを算出した結果を示す。

スウェーデンの世界ランク及びシェアをみると、「社会科学全体」で 11 位(2.5%)、「経済学・経営学」で 14 位(2.4%)、「社会科学・一般」で 9 位(2.5%)となっている。人口が、約 1,000 万人の国で「社会科学・一般」において、このように存在感がある国は他にみられない。

【図表 4-1-11】社会科学の国・地域別論文数:上位国・地域

社会科学全体				経済学・経営学				社会科学・一般			
国・地域名	2015 - 2017年 (PY) (平均)			国・地域名	2015 - 2017年 (PY) (平均)			国・地域名	2015 - 2017年 (PY) (平均)		
	論文数(整数カウント)	シェア	順位		論文数(整数カウント)	シェア	順位		論文数(整数カウント)	シェア	順位
米国	44,914	37.1%	1	米国	9,951	34.6%	1	米国	34,963	37.9%	1
英国	16,586	13.7%	2	英国	4,099	14.3%	2	英国	12,488	13.5%	2
オーストラリア	9,046	7.5%	3	ドイツ	2,535	8.8%	3	オーストラリア	6,904	7.5%	3
カナダ	7,120	5.9%	4	中国	2,521	8.8%	4	カナダ	5,570	6.0%	4
ドイツ	6,853	5.7%	5	オーストラリア	2,143	7.5%	5	ドイツ	4,317	4.7%	5
中国	6,550	5.4%	6	フランス	1,632	5.7%	6	中国	4,029	4.4%	6
スペイン	4,953	4.1%	7	カナダ	1,551	5.4%	7	オランダ	3,715	4.0%	7
オランダ	4,836	4.0%	8	スペイン	1,465	5.1%	8	スペイン	3,488	3.8%	8
フランス	3,591	3.0%	9	イタリア	1,372	4.8%	9	<b>スウェーデン</b>	<b>2,346</b>	<b>2.5%</b>	<b>9</b>
イタリア	3,516	2.9%	10	オランダ	1,121	3.9%	10	イタリア	2,144	2.3%	10
<b>スウェーデン</b>	<b>3,027</b>	<b>2.5%</b>	<b>11</b>	韓国	793	2.8%	11	フランス	1,959	2.1%	11
韓国	2,266	1.9%	12	台湾	724	2.5%	12	南アフリカ	1,858	2.0%	12
ブラジル	2,192	1.8%	13	スイス	690	2.4%	13	ブラジル	1,772	1.9%	13
：	：	：	：	<b>スウェーデン</b>	<b>681</b>	<b>2.4%</b>	<b>14</b>	：	：	：	：
日本	1,541	1.3%	22	日本	588	2.0%	15	日本	954	1.0%	24

注:1)社会科学・一般:教育学、社会学、法学、政治学等。

2)分析対象は、Article、Reviewである。整数カウント法による。年の集計は出版年(Publication year, PY)を用いた。

資料:クラリベイト・アナリティクス社 Web of Science XML (SSCI, 2018 年末バージョン)を基に、科学技術・学術政策研究所が集計。

参照:表 4-1-11

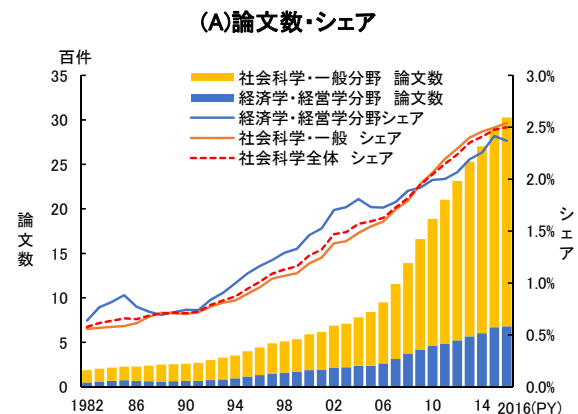
### (2)スウェーデンの社会科学の論文数・シェア・世界ランクの推移

スウェーデンの 1982 年~2016 年における論文数及びシェア(図表 4-1-12(A))を見ると、1980 年代から一貫して伸び続けている。分野別にみると、2008 年までは「経済学・経営学」のシェアが「社会科学・一般」に比べて高かったが、2009 年以降逆転しており、2010 年代の「社会科学・一般」における論文数の増加が目立つ。

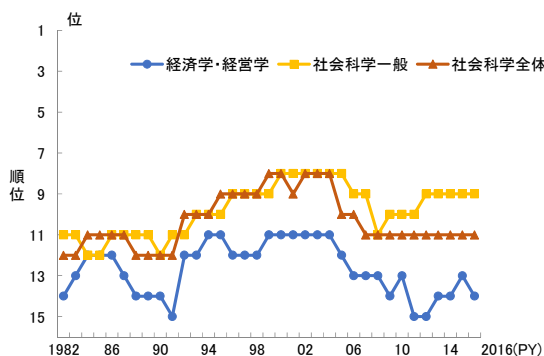
次にランクに注目すると、「社会科学全体」での世界ランクは(図表 4-1-12(B))、1980 年代から一貫して 10 位前後で推移している。また、「経済学・経営学」に関しては、15 位以内で推移している。「社会科学・一般」(公衆衛生学、教育学、政治学、

環境学など)については、2000 年初頭には 8 位、2012 年以降は 9 位を維持している。

【図表 4-1-12】スウェーデンの社会科学の論文数・シェア・世界ランクの推移



(B)世界ランク



注: 図表 4-1-11 と同じ。3年移動平均(2016年であればPY2015、PY2016、PY2017年の平均値)値である。  
資料: 図表 4-1-11 と同じ。  
参照: 表 4-1-12

**(3)スウェーデンの社会科学研究的特徴: 有力な本国ジャーナルの存在**

図表 4-1-13 には、「経済学・経営学」及び「社会科学・一般」について、2015～2017 年におけるスウェーデンの論文掲載数が上位 15 位のジャーナルを示す。スウェーデンの社会科学研究の論文がどのようなジャーナルに掲載されているかをみると、「経済学・経営学」、「社会科学・一般」とも、国際的なジャーナルに加えて、黄色で色付した本国ジャーナル(ここでは、本国語又は本国の学会や研究者が中心的に発行に関与しているジャーナルのことをいう)への掲載も多い。例えば、「経済学・経営学」では、Scandinavian Journal of Management 誌(経営学)、「社会科学・一般」では、Scandinavian Journal of Public Health 誌(公衆衛生学)...

生学)、Sociologisk Forskning 誌(社会学)、Scandinavian Journal of Educational Research 誌(教育学)などスウェーデンの研究者と関わりが深いジャーナルがある。特に Scandinavian Journal of Public Health 誌については、「社会科学・一般」で一番の論文数である。このように、スウェーデンの社会科学研究の論文は、国際ジャーナルに加えて、本国ジャーナルへの論文掲載も多いことが、スウェーデンの社会科学全体の存在感の高さにつながっていることがわかる。

**(4)我が国への示唆: 本国ジャーナルと国際ジャーナルのバランス**

スウェーデンの事例からは、国の研究力は、外国の英文ジャーナルに論文を掲載することのみではなく、諸外国から投稿を集めるような本国の英文ジャーナルを持つという双方向の関係から形成されているように見える。また、研究力の基盤として、研究者個人の努力以外の要素もあり、本国で発行されたジャーナルを国際的なデータベースに掲載させるといった、日常の学術出版活動の側面も重要になる。

これらは、我が国の研究力や研究振興の今後の方向性を考えるうえで、社会科学のみならず自然科学にとっても示唆を与える事例といえよう。今後、こうしたジャーナルの観点からの更なる調査が望まれる。

(白川 展之)

【図表 4-1-13】スウェーデンの分野別ジャーナル別論文数(2015～2017年(合計))

(A) 経済学・経営学		(B) 社会科学・一般	
ジャーナル名	論文数 研究内容 (サブジェクトカテゴリ)	ジャーナル名	論文数 研究内容 (サブジェクトカテゴリ)
Journal of Business Research	50 ビジネス	Scandinavian Journal of Public Health	144 公衆衛生学
Industrial Marketing Management	37 ビジネス、経営学	BMC Public Health	140 公衆衛生学
Ecological Economics	29 エコロジー、経済学、環境学、環境科学	Global Health Action	132 公衆衛生学
Journal of Retailing and Consumer Services	27 ビジネス	PLOS ONE	100 複合科学
Total Quality Management & Business Excellence	25 経営学	Disability and Rehabilitation	80 リハビリテーション
Economics Letters	25 経済学	International Journal of Qualitative Studies On Health and Well-Being	76 公衆衛生学、看護学、社会医学
Small Business Economics	24 ビジネス、経営学、経済学	Ecology and Society	69 エコロジー、環境科学
Scandinavian Journal of Management	24 経営学	European Journal of Public Health	66 公衆衛生学
Creativity and Innovation Management	23 経営学	Sociologisk Forskning	58 社会学
European Journal of Health Economics	22 経済学	Sexual & Reproductive Healthcare	55 公衆衛生学
Energy Economics	22 経済学	Social Science & Medicine	51 公衆衛生学、社会医学
European Economic Review	22 経済学	Work-A Journal of Prevention Assessment & Rehabilitation	51 公衆衛生学
Journal of Economic Behavior & Organization	21 経済学	Journal of Epidemiology and Community Health	48 公衆衛生学
Journal of Business & Industrial Marketing	17 ビジネス	Energy Policy	47 経済学、エネルギー、燃料、環境学、環境科学
Economic Journal	17 経営学	Scandinavian Journal of Educational Research	45 教育学

注: 1)分析対象は、Article、Review である。整数カウント法による。年の集計は出版年(Publication year, PY)を用いた。  
2)PLOS ONE 誌については、ESI22 分野分類については、引用情報を用いて、経済学・経営学又は社会科学・一般のいずれかの分野に分類しているが、サブジェクトカテゴリの研究内容分類では、一律で複合科学に分類している。  
資料: クラリベイト・アナリティクス社 Web of Science XML (SSCI, 2018 年末バージョン)を基に、科学技術・学術政策研究所が集計。  
参照: 表 4-1-13